

平成 27 年度
小規模多機能型居宅介護 サービス評価

共生ホーム よかあんべ

始良市加治木町反土 2378

電話 0995-62-5820 fax0995-64-3888

<http://www.yokaanbe.com/>

平成 27 年 2 月 22 日

◆自己評価

事業所自己評価・・・・・・・・・・・・・・・・（事-①～⑨）

◆外部評価

外部評価（地域かかわりシート②）・・・・・・・・（地②-1～6）

◆小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 9 月 29 日 (19 : 30～22 : 00)
------------------	-----	------------------------------------

1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	黒岩・荳口・花田・野添・川村・清藤・塩満・湯川・梶原・矢野・秋丸・小谷・尾之上・中村・桃木野
--------------------	------	--

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	6人	6人	1人	13人

前回の改善計画	<p>1. アセスメントシートの記載を実施し、アセスメントに慣れていくことを目指す。 →①夜勤者が夜勤の時間を活用して記載する。 ②明朝の朝礼でその情報を伝達する。</p> <p>2. その人のニーズ及び、具体的な提供するケア内容をスタッフ各々が把握できる。 →①初回のアセスメント～個人のプラン表を提示、ファイリングしたものに、まずは目を通す。 ②ケア記録とアセスメントをスタッフが見やすい場所や管理方法を検討する。 ⇒まずは、その人を知る為に、アセスメントシート (センター方式様式) のどの項目から介入していくのか検討し実行する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	11	1	0	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	9	4	0	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	4	9	1	0	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	10	3	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前にミーティングやカンファレンスで情報の共有ができています。 ・利用者様とスタッフの話しやすい雰囲気づくりをしている。 ・初期支援を今後の支援につなげている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人とご家族の想いを理解しきれていない。 ・アセスメントを上手く利用できていないことで、利用者様に対しての気遣いが不足してしまう場合がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>⇒ご本人とご家族の想いを理解できる。 《いつ》 様々な場面で 《どこで》 本人の居場所で 《誰が》 私たちが 《なにを》 話を聴く 《どのように》 1対1で ※見たこと、聞いたこと、思ったことを記録する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 9 月 29 日 (19 : 30 ~ 22 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 黒岩・荳口・花田・野添・川村・清藤・塩満・湯川・梶原・矢野・秋丸・小谷・尾之上・中村・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	9人	4人	0人	13人

前回の改善計画
1. その人の目標 (ゴール) を知ることができる。 ⇒①担当者が決まっているので、そのスタッフはその人のプランを確認して目標を把握する。 2. その人の目標 (ゴール) を共有することができる。 ⇒①ミーティングの場をつくる。 →週に1回、担当者は会議内容を(「何曜日に」「何時から」「誰の」「何について」話し合うのか)準備する。
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	7	5	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	5	0	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	2	6	6	0	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	6	5	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご本人の「～したい」という言葉には積極的に取り組んでいる。 カンファレンス・ミーティングが実施できていることによってご本人に「～したい」に近づいている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の「～したい」という目標が把握できていない。 ミーティングの中で積極的に発言できていない。 こちらの都合でご利用者へのケアや本人の「～したい」が実現、支援ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
⇒ご利用者へのケアや本人の「～したい」を実現、支援できる。	
《いつ》《どこで》木曜日のカンファレンス 《誰が》私たち (出勤者)	
《なにを》本人の「～したい」を実現するために	
《どのように》日時、場所、人、モノ、金、など具体的に決める。	
※その際に、ご家族や知り合い等からの意見を聞く	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 27 年 9 月 29 日 (19:30~22:00)
3. 日常生活の支援	メンバー	黒岩・笠口・花田・野添・川村・清藤・塩満・湯川・梶原・矢野・秋丸・小谷・尾之上・中村・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	9人	2人	0人	13人

前回の改善計画	1. アセスメントシート (センター方式) に何が書かれてあるのか理解する。 2. 知り得た「情報」を申し送り書他、ケア記録、生活記録に整理して記録する。また口頭で伝えることができる。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	8	0	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	7	1	0	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	8	3	0	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	9	0	0	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	3	9	2	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ご利用者の体調の変化をしっかりと観察してケアできている。 ご本人の状態や体調に合わせて食事等の提供ができている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> スタッフそれぞれが気づいたことを共有できていない。 以前の暮らしが把握しきれていない。 申し送りやケア記録が有効に活用できていない、他、記録の漏れがある。 アセスメント内容を把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
⇒スタッフそれぞれが気づいたことを共有できる。 《いつ》自分が気づいた時《どこで》気づいた場面で 《誰が》気づいたスタッフ 《なにを》体調の変化・本人の思い・これまでの暮らしぶり・本人の力(能力)・苦手になった能力 《どのように》口頭でスタッフへ伝え、記録に残す。記録はまず、「～かいシート」に記録する。 記録物を確認するときは、対象者だけでなく、他のご利用者も確認する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 6 日 (19:30~22:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 黒岩・荳口・花田・野添・川村・清藤・湯川・梶原・矢野・秋丸・小谷・尾之上・中村・桃木野・川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	8人	4人	0人	13人

前回の改善計画	①本人、家族、周囲の人から話を聞いて記録する。 ②本人を主人公としたイベントを開催し、普段会わない人と出会う機会をつくる。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	7	5	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	10	3	0	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	7	6	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	5	4	4	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・在宅生活を継続する為の支援ができている。 ・地域の資源を活用して地域イベント、行事に参加できている。 ・ご本人、ご家族から生活スタイルを直接聴くことができている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での暮らし、生活スタイル、地域のつながりを把握できていない。 ・地域の状況、資源を一部のスタッフしか把握できていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>⇒地域の状況、資源を全スタッフが把握できる。</p> <p>《いつ》《どこで》事業所以外の方とお話しができる時《誰が》私たちが《なにを》地域の行事、イベント、その人の地域での役割等を《どのように》まず、自分から挨拶をして、顔見知りになり、その内容を聴くことができる。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 6 日 (19:30~22:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 黒岩・荳口・花田・野添・川村・清藤・湯川・梶原・矢野・秋丸・小谷・尾之上・中村・桃木野・川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	5人	5人	2人	13人

前回の改善計画	①地域の資源を把握、確認していく。 ②それらをご利用者とつなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	4	2	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	6	2	0	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	2	10	2	0	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	10	0	0	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご本人、ご家族の状況に合わせて「通い」「訪問」「泊まり」の支援ができています。 ・変化があった時に他のスタッフ、上司へ報告し、対応ができています。 ・地域や他の事業所などの資源を活用している。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の活用方法がわからない。 ・変化に対して全員が把握し共有できていない。 ・ご本人の想いに添える支援ができていない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>⇒変化に対して全員が把握し共有できる。</p> <p>《いつ》変化に気づいた時《どこで》変化に気づいた場面で《誰が》スタッフが《なにを》その人の言葉、行動、身体的変化(体温、脈、血圧、排泄、水分摂取量、睡眠、食事量、薬の服用等)や、その人の周りにいる人、家族、モノの変化といった“事実”情報を《どのように》日勤帯スタッフ⇒夜勤帯スタッフ⇒早出・日勤スタッフ⇒遅出スタッフへ口頭及び記録物でシフトチェンジするときに申し送りを徹底する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 8 日 (19:30~22:00)

6. 連携・協働

メンバー 黒岩・荳口・花田・野添・川村・清藤・湯川・梶原・矢野・秋丸・小谷・尾之上・中村・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	6人	4人	3人	13人

前回の改善計画	<p>①運営推進会議や地域ケア会議等には現場スタッフの参加を促す。 ②地域行事にもスタッフが交代で参加できるように体制を作っていく。 ③これまで築いてきた地域への協力を継続していく。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	1	5	1	7	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	1	2	9	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	3	3	5	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	4	8	1	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方とお会いした時に挨拶を交わすことができている。 ・自治会の行事に積極的に参加するように心がけている。 ・ご利用者の主治医の受診に付き添ったり、担当者会議で他のサービス機関と連携をとっている。 ・登録者ではない方の相談や、地域の子供たちが遊びにきてくれるなど交流がある。 ・公民館の萩原いきいきサロンへご利用者と参加させていただいている。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・役割によって外部の方と関わる方と、そうでない方の差が大きい。 ・地域のイベントや活動等の情報発信や提案ができていない。 ・自ら、地域に出向いていいのか分からない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>⇒地域のイベントや活動等の情報をスタッフは全員が把握することができる。 《いつ》毎月 《誰が》管理者および主任が、スタッフ全員に対して 《どこで》勤務計画表上で 《なにを》地域のイベントや公民館活動、地域住民の方との協働した活動等を 《どのように》スタッフが把握しやすいように、勤務表の計画に記載し、勤務が組まれる前に 予定を紙面で示す。それを各自確認する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 8 日 (19:30~22:00)

7. 運営

メンバー 黒岩・荳口・花田・野添・川村・清藤・湯川・梶原・矢野・秋丸・小谷・尾之上・中村・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	4人	4人	4人	13人

前回の改善計画

- ①ご利用者それぞれの地域の民生委員さんを知る。
- ②地域行事にスタッフ全員が交代で参加できるようにする。

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	3	5	5	1	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	4	4	4	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	4	6	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	5	4	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ご本人や、ご家族からの意見や苦情にはスタッフで話し合いを行い、すぐに対応、実行するようにしている。
- ・運営推進会議や地域ケア会議等を通じて地域の方々の意見を聞き、地域の住民主体の目的を持って一緒に活動を行っている。
- ・地域住民や、行政、事業所の仲間と共にゴミ拾い活動(加治木ビューティフル作戦)等計画を進めている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・意見を積極的に伝えていない。
- ・ご意見や苦情に対応しているが、それが共有されているか不明確。
- ・地域の方と積極的に行動できていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

⇒自分の意見をスタッフに発言することができる。
 《いつ》月一回の研修及び会議前
 《誰が》スタッフ全員
 《どこで》研修及び会議の場で
 《なにを》研修内容、会議に内容を
 《どのように》その内容を各自確認して、会議での意見を整理して、意見が項目に対して一つは発言できるように準備を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 8 日 (19:30~22:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 黒岩・荳口・花田・野添・川村・清藤・湯川・梶原・矢野・秋丸・小谷・尾之上・中村・桃木野

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	8人	2人	0人	13人

前回の改善計画
①研修案内の場所をスタッフ全員で把握する。 ②その月の行事(会議や研修、連絡会)は月に勤務日程表で明記して、共有できる。また、声かけする。 ③インシデント・アクシデント報告書の記載の継続。現場リーダーは記載内容についてケアの現場で気づき伝えることができる。
前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	8	6	0	0	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	3	2	14
③	地域連絡会に参加していますか	1	0	6	7	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	4	1	14

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・職場内研修は全員参加での実施が継続できている。 ・自ら参加できる研修や、依頼された外部の研修にはできるだけ参加している。 ・資格取得に向けて、スタッフへの情報提供や支援を行っている。 ・ヒヤリ、はっとした事案には、インシデント・アクシデントレポートを作成して、スタッフ全員が確認するようにしている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・研修等が受け身であり、積極的な参加に欠けている。 ・事故報告書等の記録の仕方が未熟である。 ・その報告書の内容の共有の意識が薄い。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
⇒インシデント・アクシデントレポートを積極的に作成して、スタッフで話し合うことができる。 《いつ》ひやり、はっとした事案が発生し、レポート作成の必要生性があるとき 《誰が》スタッフ全員 《どこで》職員会議及びカンファレンスの場 《なにを》レポート内容について 《どのように》レポートの流れに沿って、事実を確認した後、その原因についてご利用者の視点、スタッフの視点、その他幅広い環境の視点で探り、ケアの質の向上に活用する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 10 月 6 日 (19 : 30～22 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 黒岩・笠口・花田・野添・川村・清藤・湯川・梶原・矢野・秋丸・小谷・尾之上・中村・桃木野・川崎

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3人	9人	1人	0人	13人

前回の改善計画
<p>1. 実際のケアの場面で、何がその人の気持ちに反することなのか? プライバシーに関係することなのか? また認知症の人にとっての混乱を招く環境になっているのか? 等に気づく目を養う。</p> <p>⇒ケアの現場でスタッフ同士、確認し合う。</p> <p>⇒自分がやっているケアがそれに当たらないか日々立ち止まることができる。</p> <p>⇒マニュアルの確認をする。研修を実施する。</p> <p>⇒センター方式を用いて、個々の環境をアセスメントする。</p>
<p>前回の改善計画に対する取組み結果</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	4	0	0	14
②	虐待は行われていない	12	2	0	0	14
③	プライバシーが守られている	6	5	3	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	11	2	0	1	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	5	2	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束・虐待はしていない 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・トイレやお風呂でのプライバシーを確保できていないことがある。 ・本人の想いを考えず、スタッフの都合で声掛けしたり、介助してしまうことがある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<p>⇒本人の想いを察し、本人へ配慮した声掛けを行い、介助ができる。</p> <p>《いつ》 その時</p> <p>《誰が》 スタッフ全員</p> <p>《どこで》 トイレ、お風呂場、個室等</p> <p>《なにを》 ドアを</p> <p>《どのように》 ゆっくり 2 回ノックして声をかけ、返事を待ち、入室する (ドアを開ける)</p>	

外部評価 地域かかわりシート②（結果まとめ様式）

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	11	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	11	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？			
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6	0	5

【上記4つのチェック項目に関する意見】

- ・できている点、できていない点の事実は分かるが、具体例が挙げてあるともう少し分かりやすい。
- ・できていない点が、翌年にどうなったのか評価をしていき、また課題に取り組むという流れが分かりやすく取り組んでほしい。

【前回の改善計画に対して意見】

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

- ・できている点、できていない点が、改善計画に反映されているといいのではないかな。

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

- ・自己評価通りであると思います。年々、地域に根付き、よかあんべの取り組みは広がってきていると思います。近所のご利用者が地域行事に参加したりできていて、この方向性で進めていってほしいと思います。

【改善計画】※後日記入

- ・事業所評価において、実施している具体的事例を提示できるように定期の運営推進会議での説明や次回評価時において報告を行う。
- ・これまでと変わりなく、理念に沿って出会った方との関係を大切にしていき、その人の暮らしを支える視点で、その人の地域に出向いていけるように取り組む。

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	9	0	2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	7	1	3
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	8	0	3
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	9	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・個別の対応をされていて大変そうである。
- ・具体的にどのような対応をされているのか教えてほしい。
- ・施錠せずに安全面の配慮はどうされているのか。
- ・お互いに連携しつつも、もっとよかあんべの中でも笑いがあったり、懐かしい音楽が外に聞こえてきたりするのもいいと思います。

【前回の改善計画】

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

- ・近隣の大型の病院は2重ロックであり、さらに火災の時にはどこから入って、どこから人を助け、どこから搬出すればよいかわからない。実際の火災時が消防署4名、それに消防団が追加で出動となる。
- ・よかあんべの避難訓練時の非常ベル使用で、施錠状態では外部にベル音は聞こえない。

【今回の改善計画】※後日記入

- ・今後も理念に沿って、ご利用者が地域に出向いていける環境づくりを大切にしながらも、そこにはスタッフが寄り添うように努める。施錠は夜間のみ実施しており、継続する。
- ・事業所内での取り組みや、出来事等は機関紙にて自治会回覧板にて皆さまにお伝えできるようにする。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	職員はあいさつできていますか？	9	0	2
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	9	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	10	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	10	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・スタッフさんの中にも、受け身で挨拶する人がいる。
- ・スタッフが分からない。
- ・私たち大人が率先して挨拶をしないとイケない。
- ・積極的に地域行事や活動に参加してくださっている。よかあんべ主催のイベントにも参加できていて、今後も一緒にできればよいと思う。

【前回の改善計画】

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・認知症の人が増えることを想定して予防の普及や、認知症の人を地域で支えるために、よかあんべさんにも地域行事やサロン活動は声をかけるようにしている。
- ・地域の方に声をかけてもらい、ご利用者さんもそれで元気になることを実感している。

【改善計画】※後日記入

- ・出会った人とは積極的に挨拶を交わす。
- ・スタッフの紹介を運営推進会議や機関紙にてお知らせする。
- ・今後も地域行事にご利用者と共に積極的に参加し、出来るだけスタッフが交代に参加する。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	10	0	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	9	0	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	10	0	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	7	0	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・1の質問のような問いの言葉は表現が分かりにくい。
- ・よく、地域の行事に参加して下さっています。
- ・地域の方も、よかあんべがこういうところだと認識してくれて、実際に頼ってこられているのを知っています。
- ・よかあんべのご利用者や地域の方が、地域で生活することが出来ると、地域の繋がりも切れず、地域の方との触れ合いも続くので近くのサービスを利用するほうが良いし、利用の仕方を自分たちも考えないといけない。
- ・グランドゴルフ大会でのIさんの参加する姿を見て、地域で住み続けることが大事だと思いました。

【前回の改善計画】

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・よかあんべが属する地域外に住む、物理的にも距離があるご利用者が、その住む地域の行事に参加したりできればもっと良いのだが。
- ・今年実施した「加治木ビューティフル作戦」も、この目的に沿っていたと思う。ご利用者と地域の顔が繋がったり、地域の人同士のつながりも生まれた。

【改善計画】※後日記入

- ・ご利用者以外の突発的な相談事等にも速やかに民生員さんや自治会役員の方と連携をとっていく。
- ・その人の地域での暮らしを支える人やものを知り、その人たちに知らないことや相談を持ち掛け、一緒に解決する姿勢を持つ。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	9	0	2
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	8	0	3
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	8	0	3
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	7	0	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・民生委員として守秘義務があるが、言える範囲で自治会長さんや長寿会長、よかあんべさんと情報交換をすることが大切だと思う。
- ・今年取り組んだ「ビューティフル作戦」は当会議のメンバーが主になり、当会議も用いて行うことでよかった。

【前回の改善計画】

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・近くによかあんべのような施設があれば、私の母も加治木に移ってくることはなかったと思います。
- ・近くの事業所が良い面もあるが、特に男性は自分のことを知らないところを望む方もいる。

【改善計画】※後日記入

- ・今後の始良市の地域支え合い事業も当会議メンバーを軸に展開していけるようにする。
- ・地域の方々への予防活動にも力を入れ、その相談や企画等に当会議を活用していく。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？			
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	1	1	9
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	6	0	5
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	3	3	5
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	7	0	4

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・火災訓練には、地域の消防団長が参加している。
- ・事業所の防災訓練は年に2回実施している他、具体的な計画は知らない。
- ・校区の防災訓練にも参加しておられる。
- ・台風、地震等時は自治会長さん長寿会長さんと連絡をとり、地域の一人暮らしの高齢者等の避難場所としてもよかあんべを今後も開放していく。

【前回の改善計画】

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・桜島海底噴火の場合は、7分で津波が押し寄せてくる。
- ・田中橋、萩原公民館に大正3年の桜島大噴火時の津波の高さが明記されている。
- ・この辺りではよかあんべが海拔が高く、下手に動かないほうが良い。柁城小も建物もしっかりして高い。
- ・加治木中、保健センター、福祉センター、とむランド等の避難場所の確認が必要。
- ・8. 6水害で小山田への道路は高井田の山道は土砂崩れを起こし、とむランドは1メートル程水につかったことがある。

【改善計画】※後日記入

- ・今後も事業所の防災訓練に地域の方々が参加できるように声をかけていく。また、地域の防災訓練には参加する。
- ・運営推進会議にて防災計画を伝える場面をつくる。
- ・引き続き、台風等が予測できるときは事前に自治会長さんや長寿会長さんへ開放の意思をお伝えする。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 浪漫	代表者	代表取締役 黒岩 尚文	法人・ 事業所 の特徴	①地域とのつながり（地域交流スペースの解放と活用・自治会への加入と自治会活動への参加・ボランティア）②子ども110番、始良市認定「介護の相談 語らい処」の設置③地域行事への参加、朝のゴミ拾い④ライフサポートプランの導入⑤タッチフォンの貸与⑥認知症の人の、ひもときシートを活用したカンファレンス⑦家族会（ホッとタイム）の実施⑧社会貢献活動の受け入れ⑨お習字教室の開催⑩加治木・宝島に同一法人の事業所があり、また北海道にも関連事業所がある。お互いに連携を図り刺激し合いながら実践を共有し合っている。職員交流も行っている。⑪始良市地域支え合い体制づくり事業への参加⑫始良市小規模連絡会に所属しており、情報共有を図っている。
事業所名	共生ホーム よかあんべ	管理者	荳口 淳		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	7人	1人	1人	1人	1人	2人	人	14人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・できている点、できていない点の事実は分かるが、具体例が挙げるともう少し分かりやすい。 ・できていない点、翌年にどうなったのか評価をしていき、また課題に取り組むという流れが分かりやすく取り組んでほしい。 ・できている点、できていない点、改善計画に反映されているといいのではないか。 ・自己評価通りであると思います。年々、地域に根付き、よかあんべの取り組みは広がってきていると思います。近所のご利用者が地域行事に参加したりできていて、この方向性で進めてほしいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所評価において、実施している具体的事例を提示できるように定期的な運営推進会議での説明や次回評価時において報告を行う。 ・これまでと変わりなく、理念に沿って出会った方との関係を大切にしていき、その人の暮らしを支える視点で、その人の地域に向いていけるように取り組む。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・個別の対応をされていて大変そうである。 ・具体的にどのような対応をされているのか教えてほしい。 ・施錠せずに安全面の配慮はどうされているのか。 ・お互いに連携しつつも、もっとよかあんべの中でも笑いがあったり、懐かしい音楽が外に聞こえてきたりするのもいいと思います。 ・近隣の大型の病院は2重ロックであ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も理念に沿って、ご利用者が地域に向いていける環境づくりを大切にしながらも、そこにはスタッフが寄り添うように努める。施錠は夜間のみ実施しており、継続する。 ・事業所内での取り組みや、出来事等は機関紙にて自治会回覧板にて皆さまにお伝えできるよう

			<p>り、さらに火災の時にはどこから入って、どこから人を助け、どこから搬出すればよいかわからない。実際の火災時が消防署 4 名、それに消防団が追加で出動となる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よかあんべの避難訓練時の非常ベル使用で、施錠状態では外部にベル音は聞こえない。 	にする。
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフさんの中にも、受け身で挨拶する人がいる。 ・スタッフがわからない。 ・私たち大人が率先して挨拶をしないといけない。 ・積極的に地域行事や活動に参加してくださっている。よかあんべ主催のイベントにも参加できていて、今後一緒にできればよいと思う。 ・認知症の人が増えることを想定して予防の普及や、認知症の人を地域で支えるために、よかあんべさんにも地域行事やサロン活動は声をかけるようにしている。 ・地域の方に声をかけてもらい、ご利用者さんもそれで元気になることを実感している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出会った人とは積極的に挨拶を交わす。 ・スタッフの紹介を運営推進会議や機関紙にてお知らせする。 ・今後も地域行事にご利用者と共に積極的に参加し、出来るだけスタッフが交代に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・1の質問のような問いの言葉は表現が分かりにくい。 ・よく、地域の行事に参加してくださっています。 ・地域の方も、よかあんべがこういうところだと認識してくれて、実際に頼ってこられているのを知っています。 ・よかあんべのご利用者や地域の方が、地域で生活することが出来ると、地域の繋がりも切れず、地域の方との触れ合いも続くので近くのサービスを利用するほうが良いし、利用の仕方を自分たちも考えないといけない。 ・グランドゴルフ大会でのIさんの参加する姿を見て、地域で住み続けることが大事だと思いました。 ・よかあんべが属する地域外に住む、物理的にも距離があるご利用者が、その住む地域の行事に参加したりできれ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者以外の突発的な相談事等にも速やかに民生委員さんや自治会役員の方と連携をとっていく。 ・その人の地域での暮らしを支える人やものを知り、その人たちに知らないことや相談を持ち掛け、一緒に解決する姿勢を持つ。

			<p>ばもっと良いのだが。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年実施した加治木ビューティフル作戦も、この目的に沿っていたと思う。ご利用者と地域の顔が繋がったり、地域の人同士のつながりも生まれた。 	
E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員として守秘義務があるが、言える範囲で自治会長さんや長寿会長、よかあんべさんと情報交換をすることが大切だと思う。 ・今年取り組んだ「ビューティフル作戦」は当会議のメンバーが主になり、当会議も用いて行うことでよかった。 ・私の母は始良市外で暮らしていた。その市町村にもよかあんべのような施設があれば、私の母も加治木に移ってくることはなかったと思います。 ・近くの事業所が良い面もあるが、特に男性は自分のことを知らないところを望む方もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の始良市の地域支え合い事業も当会議メンバーを軸に展開していけるようにする。 ・地域の方々への予防活動にも力を入れ、その相談や企画等に当会議を活用していく。
F. 事業所の防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> ・火災訓練には、地域の消防団長が参加している。 ・事業所の防災訓練は年に2回実施している他、具体的な計画は知らない。 ・校区の防災訓練にも参加しておられる。 ・台風、地震等時は自治会長さん長寿会長さんと連絡をとり、地域の一人暮らしの高齢者等の避難場所としてもよかあんべを今後も開放していく。 ・桜島海底噴火の場合は、7分で津波が押し寄せてくる。 ・田中橋、萩原公民館に大正3年の桜島大噴火時の津波の高さが明記されている。 ・この辺りではよかあんべが海拔が高く、下手に動かないほうが良い。柁城小は建物もしっかりしていて高い。 ・加治木中、保健センター、福祉センター、とむランド等の避難場所の確認が必要。 ・8.6 水害で小山田への道路は高井田の山道は土砂崩れを起こし、とむランドは1メートル程水につかったことがあ 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も事業所の防災訓練に地域の方々に参加できるように声をかけていく。また、地域の防災訓練には参加する。 ・運営推進会議にて防災計画を伝える場面をつくる。 ・引き続き、台風等が予測できるときは事前に自治会長さんや長寿会長さんへ開放の意思をお伝えする。 ・大災害における避難の手段を具体的にしていこうように努める。

			<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none">・水はポリタンクに溜めておいたほうがよいだろう。・大地震や、津波の規模によって、いざというときに具体的のどのよう避難するのかを考えることが必要ではないか。・その為にも自助、公助、共助の意識が大切だろうし、よかあんべにとっては周りの協力も必要だ。・自治会の自主防災組織はどうなっているのか？・災害の時は、食事をどうするかが重要な問題である。・自治会等と協力して、非常食のストックができればよいのではないか。	
--	--	--	---	--